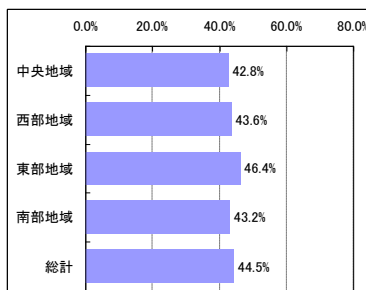


## 八代市住生活基本計画 市民アンケート調査結果(概要)

### ●配布・回収率

- 1) 調査期間 : 平成24年9月24日(月)～平成24年10月9日(火)
- 2) 配布方法 : 郵送による配布、回収
- 3) 配布対象 : 市内在住の20歳以上の世帯主
- 4) 配布・回収状況

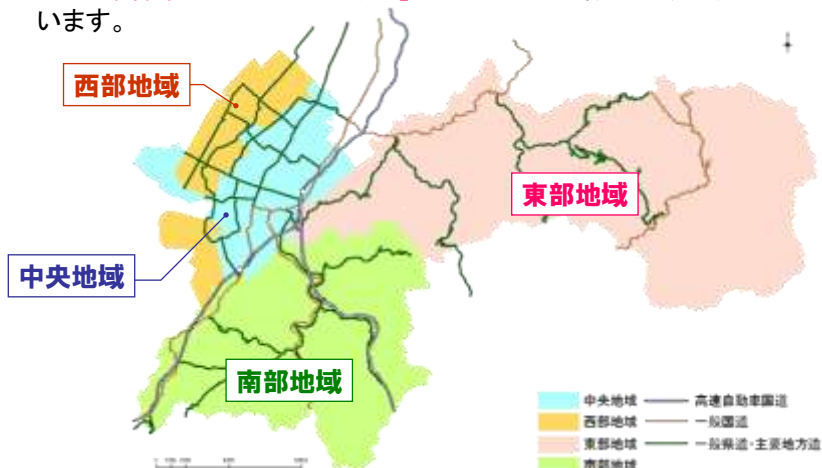
地域区分	配布数	回収数	回収率
中央地域	2,243	959	42.8%
西部地域	601	262	43.6%
東部地域	250	116	46.4%
南部地域	266	115	43.2%
無回答	-	39	-
不明	-	3	-
<b>総計</b>	<b>3,360</b>	<b>1,494</b>	<b>44.5%</b>



## 地域区分について

- 地域区分は、地形を考慮して**4地域**に区分しています。

「八代市都市計画マスタープラン」(H22.3)でも同様の地域区分で整理しています。



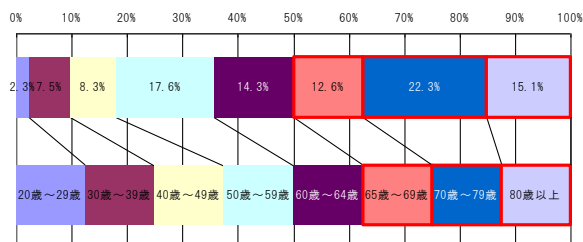
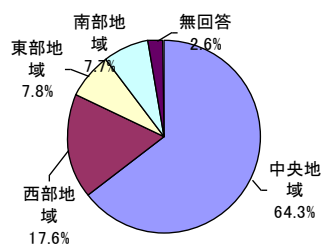
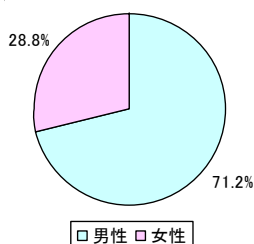
## 市民アンケート調査項目

◆目的:住民が感じている住まいや住環境における課題、今後取り組むべき住宅施策などの考えを把握し、計画に反映させるため

1.属性	年齢、性別、職業、居住地、居住年数、世帯構成、家屋の構造 など
2.住宅のリフォーム	必要性、実施する理由、実施しない理由、予定金額 など
3.周辺環境 (地域コミュニティ・防災)	近所づきあいの程度、近所づきあいをしない理由 地域の災害に対する安全性、危険と思う内容 など
4.住まい・住環境の満足度	【住まい】広さ、水回り、防犯性、安全性、高齢化対応 など 【住環境】安全性(災害等)、利便性(通勤・買物等)、快適性(自然等)
5.今後の居留意向	居留意向、転居したい理由、転居先の住宅の種類、転居場所
6.親・子との住み方	離れて暮らす親・子の有無・場所、親・子との将来の住み方
7.子育て環境	子育て期に重要な住宅・住環境(広さ、防犯性、遊び場、子育て支援)
8.今後の住宅施策	今後重視すべき住宅施策(公営住宅、宅地開発、空家対策、耐震、バリアフリー化支援、持家取得支援、UJIターン支援、公共交通充実…)

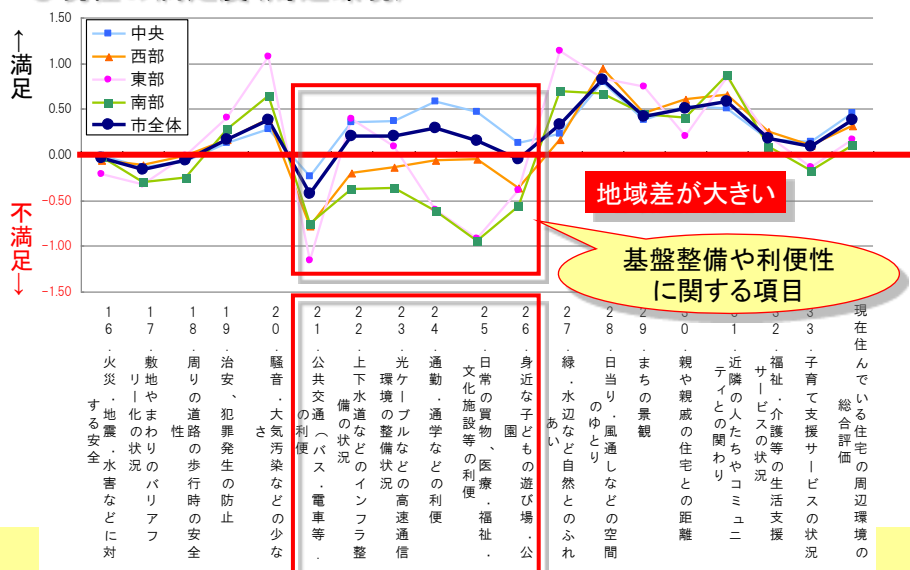
## 市民アンケート調査結果

### ●属性(性別、年齢、地域)



## 市民アンケート調査結果

### ●現在の満足度(周辺環境)



## 市民アンケート調査結果

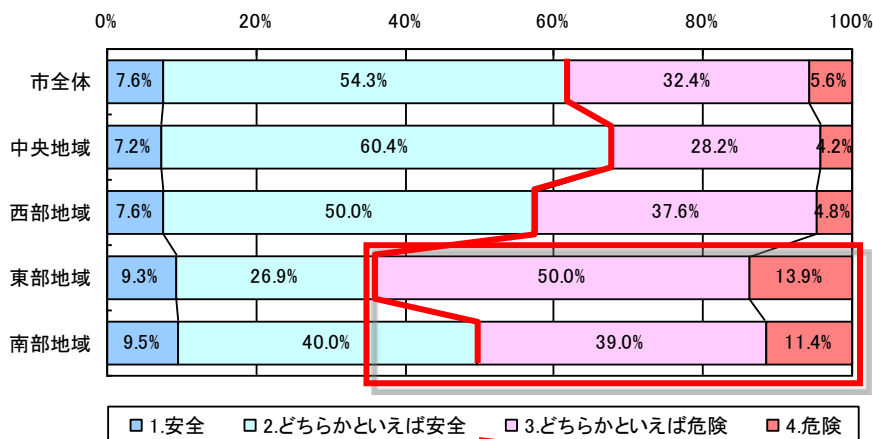
まち部と山間部重要度が異なる

### ●重要と思う施策

地区名	市全体	中央	西部	東部	南部
1位	16)火災・地震・水害などに対する安全	16)火災・地震・水害などに対する安全	16)火災・地震・水害などに対する安全	16)火災・地震・水害などに対する安全	16)火災・地震・水害などに対する安全
2位	4)地震・台風時の住宅の安全性	19)治安・犯罪発生の防止	4)地震・台風時の住宅の安全性	25)日常の買物、医療・福祉・文化施設等の利便	25)日常の買物、医療・福祉・文化施設等の利便
3位	19)治安・犯罪発生の防止	4)地震・台風時の住宅の安全性	19)治安・犯罪発生の防止	21)公共交通(バス・電車等)の利便	4)地震・台風時の住宅の安全性
4位	25)日常の買物、医療・福祉・文化施設等の利便	25)日常の買物、医療・福祉・文化施設等の利便	25)日常の買物、医療・福祉・文化施設等の利便	4)地震・台風時の住宅の安全性	21)公共交通(バス・電車等)の利便
5位	32)福祉・介護等の生活支援サービスの状況	18)周りの道路の歩行時の安全性	32)福祉・介護等の生活支援サービスの状況	32)福祉・介護等の生活支援サービスの状況	19)治安・犯罪発生の防止

# 市民アンケート調査結果

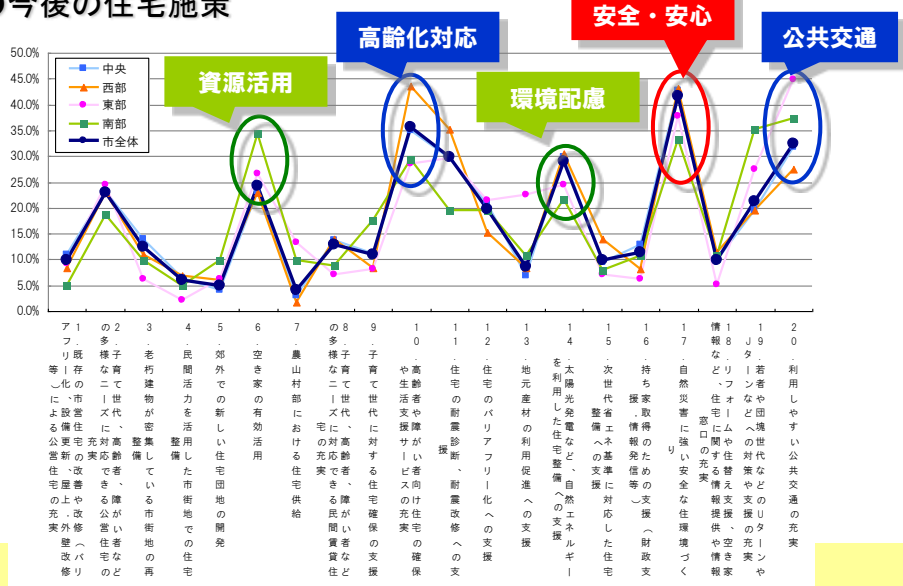
## ●災害に対する危険度認識



**東部・南部で「危険」と感じている割合が比較的高い**

# 市民アンケート調査結果

## ●今後の住宅施策



## 市民アンケート調査結果

### ●今後の住宅施策

まち部と山間部重要度が異なる

地区名	市全体	中央	西部	東部	南部
1位	自然災害に強い安全な住環境づくり	自然災害に強い安全な住環境づくり	高齢者や障がい者向け住宅の確保や生活支援サービスの充実	利用しやすい公共交通の充実	利用しやすい公共交通の充実
2位	高齢者や障がい者向け住宅の確保や生活支援サービスの充実	高齢者や障がい者向け住宅の確保や生活支援サービスの充実	自然災害に強い安全な住環境づくり	自然災害に強い安全な住環境づくり	若者や団塊世代などのUターンやJターンなどへの対策や支援の充実
3位	利用しやすい公共交通の充実	利用しやすい公共交通の充実	住宅の耐震診断、耐震改修への支援	住宅の耐震診断、耐震改修への支援	空き家の有効活用
4位	住宅の耐震診断、耐震改修への支援	太陽光発電など、自然エネルギーを利用した住宅整備への支援	太陽光発電など、自然エネルギーを利用した住宅整備への支援	高齢者や障がい者向け住宅の確保や生活支援サービスの充実	自然災害に強い安全な住環境づくり
5位	太陽光発電など、自然エネルギーを利用した住宅整備への支援	住宅の耐震診断、耐震改修への支援	利用しやすい公共交通の充実	若者や団塊世代などのUターンやJターンなどへの対策や支援の充実	高齢者や障がい者向け住宅の確保や生活支援サービスの充実

## 市民アンケート調査結果(まとめ)

### <市民アンケート調査まとめ>

- ・自然災害への対応、耐震化などを重要視する意見が多く、特に、東部・南部地域で顕著
  - ⇒安全・安心なまちづくりが必要
- ・高齢者・障がい者への対応も意見として多くあがっている
  - ⇒高齢化等に配慮したまちづくりが必要
- ・通勤・通学、通院、買い物など、日常の利便性を求める声大きい(公共交通の利便性も)
- ・高齢者ほど、利便性の高い中心市街地への居住を好む傾向  
若者は、車利用を前提としてゆとりのある郊外部を好む傾向
  - ⇒快適に暮らせるまちづくりが必要
- ・省エネ住宅、空き家の活用などが重要視されている
  - ⇒環境に配慮した持続可能な住環境づくりが必要